

ヒルズ通信

第68号
社会福祉法人 景誠会
ヒルズ勝沼



「年頭の挨拶」



新年、明けましておめでとうございます。入居者の皆様、ご家族の皆様におかれましては、新しい年を新たな気持ちでお迎えになられたことと、お慶び申し上げます。ヒルズ勝沼は、今年で十年目を迎えることが出来ました。これも皆様の日々のご理解とご協力のお陰と、職員一同心より感謝いたしております。

昨年、福祉施設にてあってはならない事件が起きてしまいました。まさかヒルズは起きないだろうという気持ちもありますが、万が一に備え、防犯対策の強化を致しました。夜間帯守衛はおりますが、各フロア1名の介護職員でケアを行っている為、非常時の際は警備会社や警察に直通の非常通報ボタンを身に付けケアを行う様にし、催涙スプレーも配備して、皆様に安心して生活して頂けるように致しました。

今年も「自分が入居したい」「自分の身内を入居させたい」と思える施設作りを目指して、初心

を忘れることなく、皆様の声に耳を傾け、社会福祉の理念と役割を充分認識した上で、ヒルズ勝沼に入居して良かったと思っ頂けるように、質の高いサービス提供に努めてまいりたいと考えております。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

(施設長 内田 千佳)

一丁目



「一年間ありがとうございました」

新年、明けましておめでとうございます。申年の一年もあっという間に過ぎてしまい、時の流れの早さに驚きです。そんな中、入居者様の皆様はお変わりなくお元気に過ごされております。

昨年には自然界においても様々な出来事もありました。11月に五十年ぶりの積雪も記憶に新しいこの一年でした。また、リオ五輪での日本勢の金メダル獲得ラッシュ

には多くの方々が感動されたのではないのでしょうか。



先月、一丁目ではお部屋の窓や入口にクリスマスリースの雰囲気味わって頂くとう飾り付けをし、16日には毎年恒例のクリスマス会が行われました。ボランティア様の出し物や歌など、サンタさんからプレゼントもあり僅かな時間でしたが童心に返った思い出のひと時でした。昨年を表す漢字一文字は「金」でしたが一丁目では年頭にあたり「会」の文字で現してみました。「会」には、多くのご家族様とお会い出来ます事や会話（コミュニケーション）を大切にこの一年安心して明るく楽しく過ごす事が出来るようにという思いが込められています。

今年も昨年に引き続き、ご家族様のご意見、ご協力を頂き、少しでもヒルズに足を運んで頂けたら幸いに思います。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

(三枝 里子)



「クリスマス会」

一丁目



先月の12月16日、ヒルズ勝沼開設記念日に一足早くクリスマス会が行われました。

まず職員と入居者様全員で「きよしこの夜」を歌いました。上手に歌う方や口ずさむ方など皆様に楽しまれていました。



続いてボランティアの皆様による歌と演劇が行われました。甲州弁による進行とコミカルな動作に多くの笑顔を見ることが出来ました。



最後にサンタによるプレゼントを入居者様代表の方に渡してお開きとなりました。

これから増々寒さも厳しくなりますが皆様お身体に気を付けてお過ごし下さい。

(四十物 大)